

**2026年3月期第2四半期（中間期）決算説明会**  
**カーリットグループ 各事業の状況と戦略について**



**株式会社カーリット**

**CODE : 4275**

- 2026年3月期第2四半期（中間期） 決算概要
- 2026年3月期 通期見通し

財務部担当 取締役兼執行役員 岡本 英夫

- カーリットグループ 各事業の状況と戦略について

代表取締役兼社長執行役員 金子 洋文

# 2026年 3 月期第 2 四半期（中間期） 決算概要

---

# 中間期 決算概要 < 連結経営成績 >

(百万円)	2025年3月期中間期 実績	2026年3月期中間期 実績	増 減	増減率
<b>売 上 高</b>	<b>18,045</b>	<b>17,763</b>	<b>▲281</b>	<b>▲1.6%</b>
売上原価	13,668	13,304	▲363	▲2.7%
販売費および一般管理費	3,182	2,954	▲227	▲7.2%
<b>営業利益</b>	<b>1,194</b>	<b>1,504</b>	<b>+309</b>	<b>+25.9%</b>
<b>経常利益</b>	<b>1,382</b>	<b>1,657</b>	<b>+275</b>	<b>+19.9%</b>
<b>純利益</b>	<b>951</b>	<b>1,149</b>	<b>+198</b>	<b>+20.8%</b>
<b>期末配当予想 (円/株)</b>	<b>36</b>	<b>38</b>	<b>+2</b>	<b>+5.6%</b>

特別利益 投資有価証券売却益 285百万円  
 特別損失 減損損失 121百万円

# 中間期 決算概要 < 連結営業利益 増減内訳 >

信頼と限りなき挑戦



(百万円)

1,600

2025年3月期中間期実績 対 2026年3月期中間期実績

1,400

1,200

1,000

800

600

400

200

0

11.9  
億円

売上構成変化・  
販売価格の適正化 等  
+ 82百万円

経費減少 等  
+ 147百万円

開発品の試験販売 等  
+ 80百万円

15.0  
億円

+ 3 億円

2025/3上期実績

2026/3上期実績

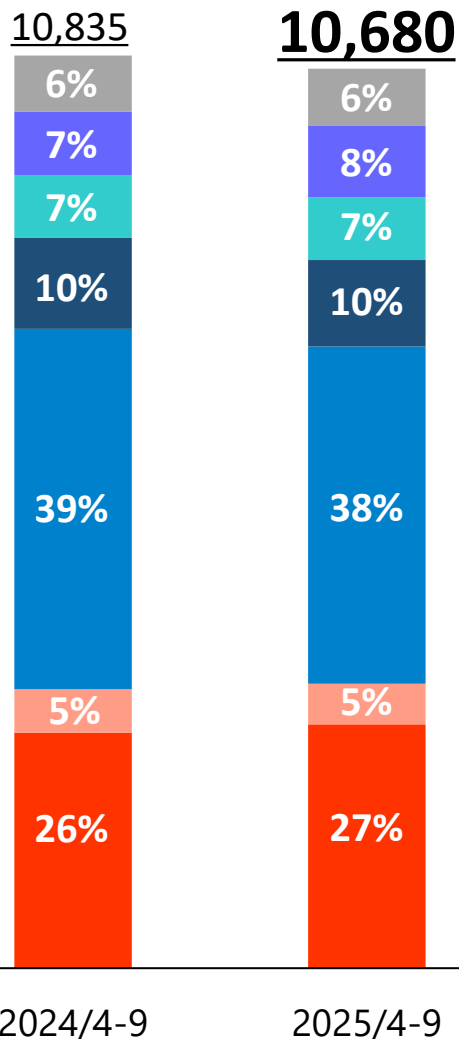
# 中間期 決算概要 <セグメント別実績>

(百万円)	売 上 高			営 業 利 益		
	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増 減 額	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増 減 額
化学品	10,835	<b>10,680</b>	▲155	664	<b>865</b>	+201
ボトリング	2,272	<b>2,125</b>	▲147	6	<b>▲73</b>	▲79
金属加工	3,603	<b>3,770</b>	+166	219	<b>373</b>	+154
エンジニアリングS	1,908	<b>2,556</b>	+648	285	<b>459</b>	+173
報告事業部門計	18,621	<b>19,132</b>	+511	1,176	<b>1,626</b>	+449
連結合計	18,045	<b>17,763</b>	▲281	1,194	<b>1,504</b>	+309

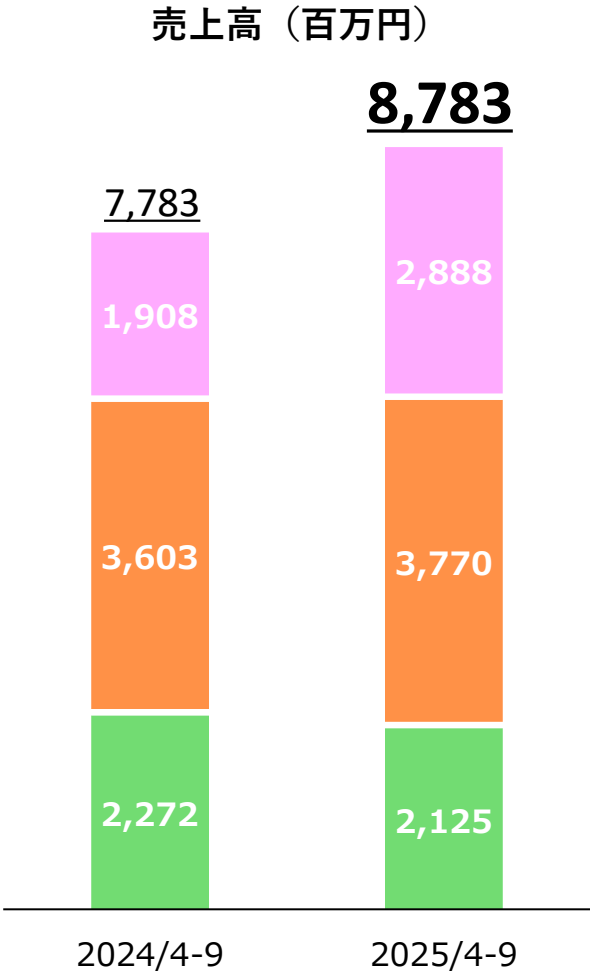
# 決算概要

## < 化学品セグメント >

売上高（百万円）



分野（サブセグメント）	売上高 増減率 （前年同期比）	サブセグメント別の状況
化薬分野	+ 4%	産業用爆薬：需要減少に伴い数量減。販社への適正価格の反映により増収増益。 発炎筒類：自動車用は売上高横ばい、コスト増で減益。高速道路用は増収増益。 煙火関連：販売伸び悩みで減収。製造コスト増により減益。
受託評価分野	▲7%	危険性評価試験：一部顧客の調整期間の影響を受け売上高横ばい。減価償却費増により減益。 電池試験：一部顧客の調整期間の影響を受け、減収減益。
化成品分野	▲6%	塩素酸ナトリウム：紙パルプ漂白用途の需要減少により減収減益。 過塩素酸アンモニウム：計画に沿った需要推移で売上高は横ばい。適正価格の反映により増益。 電 極：交換需要が好調となり増収増益。
電子材料分野	▲5%	EV需要の減速によるキャパシタ用電解液の減販と、液晶材料の在庫調整が継続し減収。 一方、ハイエンドサーバー向け電子部品需要の好調により、高付加価値製品の販売が増え増益。
セラミック材料分野	+ 1%	適正価格の維持と販売推進に加え、金属加工関連の顧客需要が堅調に推移し、増収増益。
シリコンウェーハ分野	+ 12%	顧客の在庫過多および生産調整は不透明ながら、一部顧客の需要回復により増収。 一方、高付加価値製品の販売伸び悩みや、工場稼働率の低下などの影響により減益。



セグメント	売上高 増減率 (前年同期比)	セグメント別の状況
ボトリングセグメント	▲6%	環境配慮を重視する顧客の意向により、ホットパック充填製造ラインの受注量が減少し、減収減益。毎年実施する定期修繕コストに対し、中間期にて黒字化を想定するも届かず。第3四半期以降に利益確保していく想定。
金属加工セグメント	+5%	耐熱炉内用金物：製鉄所やセメント工場、ゴミ処理施設などの定期修繕により需要好調。集じん機用リテーナの交換需要は微減傾向であったが、全体として増収増益。 各種金属スプリング：主要取引先である建設機械や自動車需要は落ち込んだが、適正価格維持およびプレス品や生産性向上等の取り組みにより、増収増益。
エンジニアリングサービスセグメント	+51%	建築・設備工事：競争環境は厳しいが、内部の建設工事や設備工事が増え、増収増益。 塗料販売・塗装業務：塗料販売は堅調な一方、建設機械向け需要の低迷により塗装業務の取り扱い件数が減少し、減収減益。 構造設計：耐震補強設計や耐震診断案件の獲得が好調で増収。一方、詳細設計案件の収益伸び悩みにより利益は横ばい。



# 2026年 3 月 期 通 期 見 通 し

---

# 連結業績予想（11/12 修正開示）

(百万円)		2026年3月期 5/15 当初予想	2026年3月期 11/12 修正予想	差 異	増 減 率
売上高	第2四半期	18,500	17,763 <sup>※</sup>	▲737	▲4.0%
	通 期	39,000	<b>38,000</b>	▲1,000	▲2.6%
営業利益	第2四半期	1,100	1,504 <sup>※</sup>	+404	+36.8%
	通 期	3,100	<b>3,500</b>	+400	+12.9%
経常利益	第2四半期	1,200	1,657 <sup>※</sup>	+457	+38.1%
	通 期	3,350	<b>3,700</b>	+350	+10.4%
純利益	第2四半期	800	1,149 <sup>※</sup>	+349	+43.7%
	通 期	2,700	<b>2,850</b>	+150	+5.6%
期末配当	1株当たり	36円	<b>38円</b>	+2	+5.6%

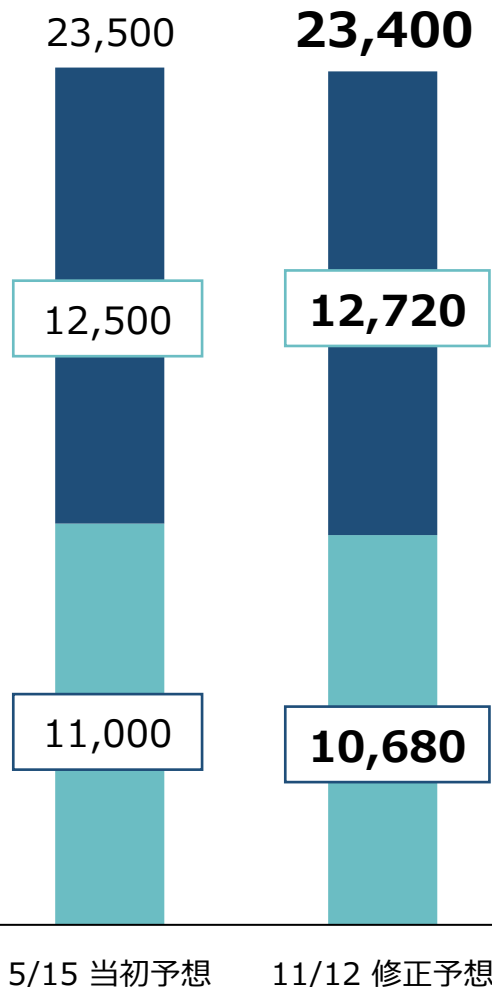
※実績値

# 連結業績予想 <セグメント別>

(百万円)	通 期 売 上 高			通 期 営 業 利 益		
	2026年3月期 5/15 当初予想	2026年3月期 11/12 修正予想	増 減 額	2026年3月期 5/15 当初予想	2026年3月期 11/12 修正予想	増 減 額
化学品	23,500	23,400	▲100	1,550	2,030	+480
ボトリング	4,600	4,500	▲100	450	370	▲80
金属加工	7,300	7,400	+100	550	560	+10
エンジニアリングS	5,000	5,600	+100	650	710	+60
報告事業部門計	40,400	40,400	±0	3,200	3,670	+470
連結合計	39,000	38,000	▲1,000	3,100	3,500	+400

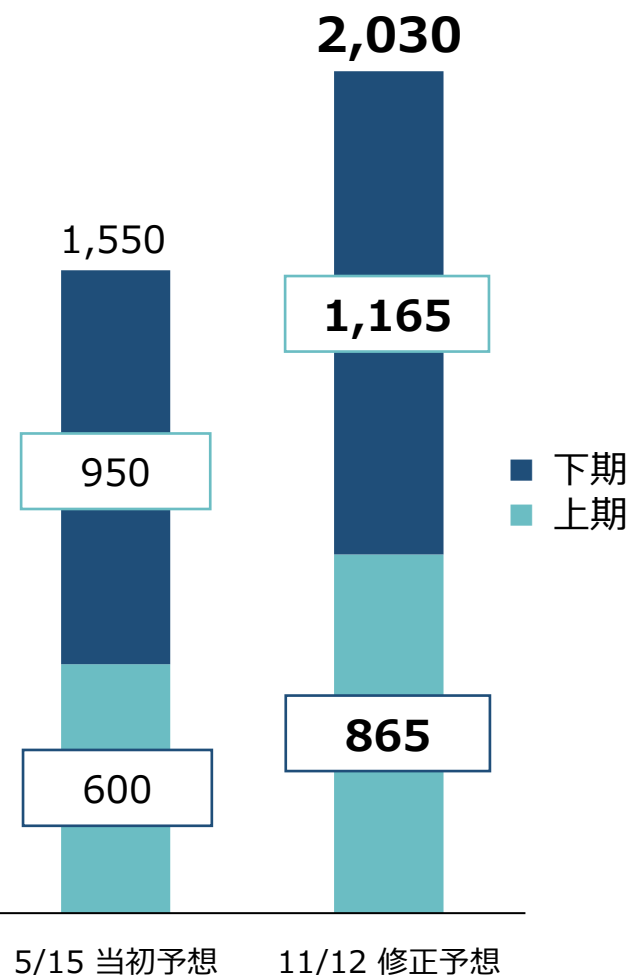
# 業績計画 <化学品セグメント>

## 【売上高】



## 【営業利益】

(単位：百万円)



### ■ 化薬分野（発炎筒類、爆薬、煙火原料等）

需要は上期同様に堅調予定。**生産コスト増の価格反映の取り組みを継続。**

### ■ 受託評価分野（危険性評価試験、電池試験）

**電池試験所の新試験棟が11月から稼働開始。**各種展示会やセミナーを通し、既存顧客のリピートや横展開だけでなく、新規案件の受注も目指す。

### ■ 化成品分野（塩素酸ナトリウム、過塩素酸アンモニウム等）

塩素酸ナトリウム（紙パルプ漂白原料）は依然需要の不透明さが継続。  
**過塩素酸アンモニウム（推進薬原料）は需要計画に沿った増販を予定。**

### ■ 電子材料分野（導電性高分子、イオン液体等）

**上期から引き続き、ハイエンドサーバー向け電子部品需要にターゲットを定め、高付加価値製品の販売を強化。**

### ■ セラミック材料分野（研削砥粒等）

需要環境は上期から変動なく堅調。

### ■ シリコンウェーハ分野（小口径シリコンウェーハ等）

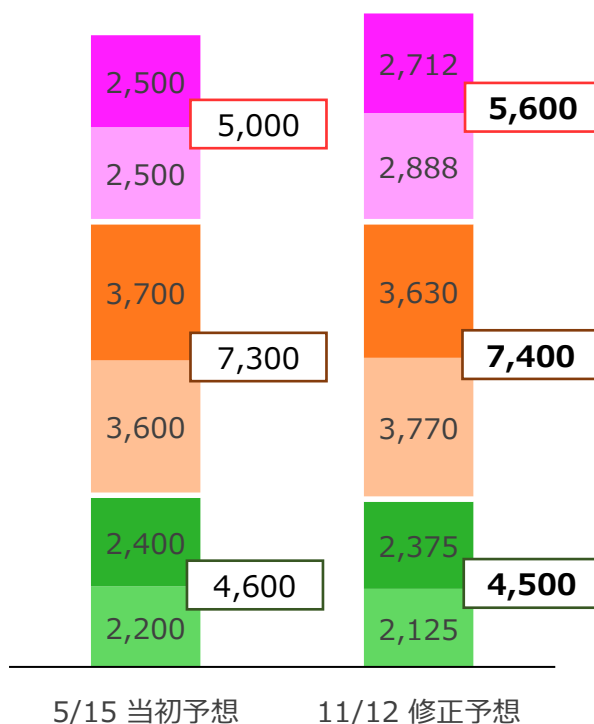
上期は一部顧客の需要回復もあったが、顧客の小口径シリコンウェーハの在庫消化は引き続き緩やか。他分野にてカバーしていく。

# 業績計画 < 基盤領域セグメント群 >

信頼と限りなき挑戦



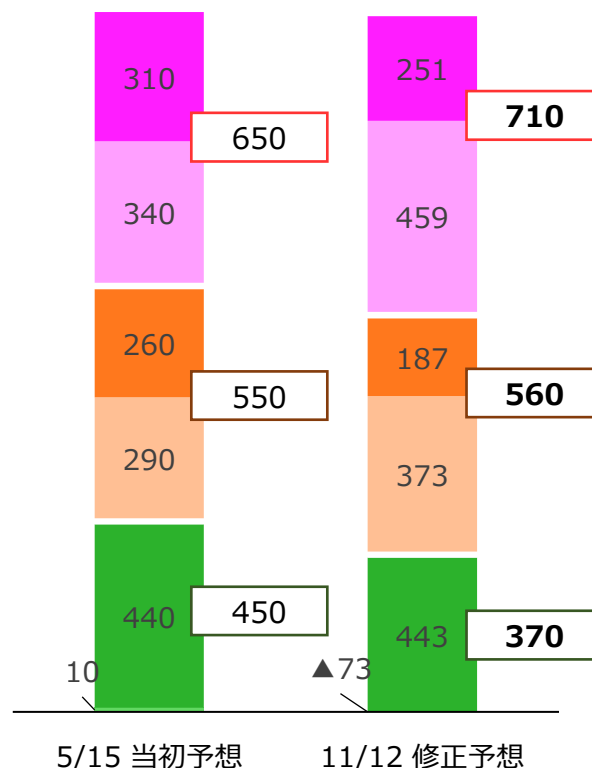
## 【売上高】



## 【営業利益】

(単位：百万円)

■ 下期  
■ 上期



## ■ ボトリングセグメント

350ml～600ml製品や加温PET製品の受注確保に注力。  
安定稼働の維持と、生産効率の向上を目指す。

## ■ 金属加工セグメント

耐熱炉内用金物分野については、製鉄所やゴミ処理施設などの定期修繕は上期ほど件数を見込めず、需要に応じた供給を進めていく。  
金属スプリング・プレス品分野については、需要状況は期初計画通り。改善している利益性の分、増益を見込む。

## ■ エンジニアリングサービスセグメント

建築・設備分野については、外部案件獲得の競争環境が厳しい状況。  
塗料・塗装分野については、概ね期初計画どおりに推移。  
構造設計分野については、民間案件を増やし増収益を目指す。

# カーリットグループ 各事業の状況と戦略について

---

# 中期経営計画Challenge2027のおさらい

1

2027年度目標：営業利益 42億円

2030年度目標：営業利益 50億円

2035年度目標：営業利益 60億円 とする中長期計画を策定

2

事業ポートフォリオの見直しを実行。新たに〔重点領域〕を加え、  
〔注力領域〕〔育成領域〕〔基盤領域〕とあわせ 4 つの領域を設定

カーリットの事業の全体像がわかりにくい  
というご質問が多くあり、今回改めてご紹介

3

〔重点領域〕として「宇宙・防衛 固体推進薬」を設定。  
これまで宇宙ロケット用に限定していた開発を、防衛分野にも着手

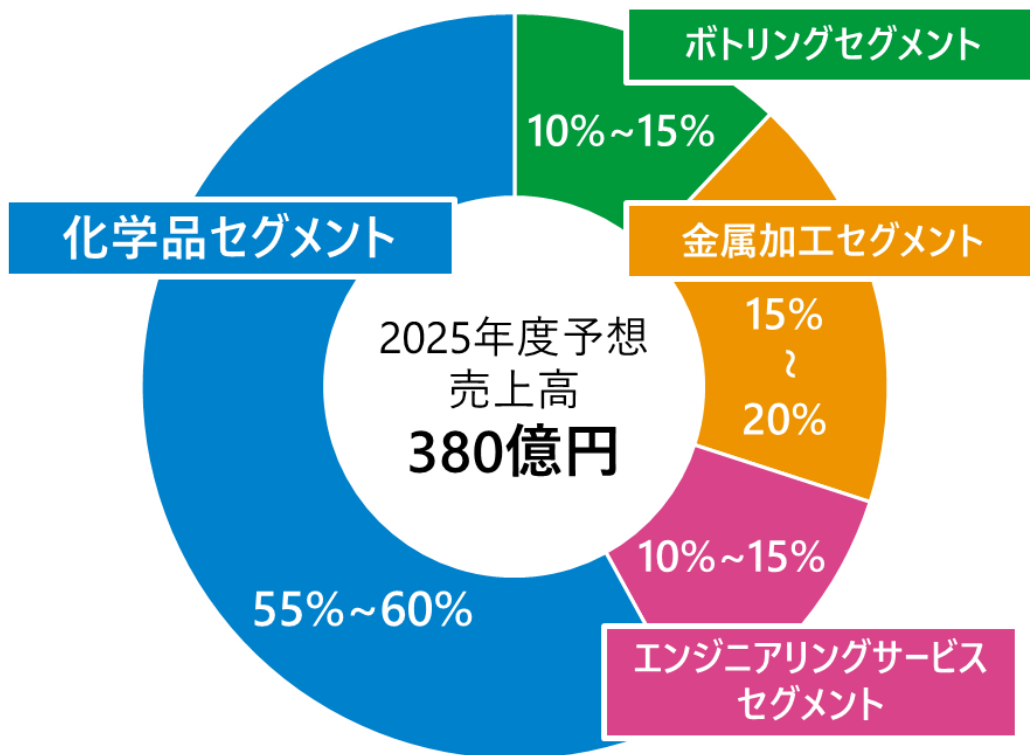
4

最適資本構成をふまえた適切な株主還元として、総還元性向の目標を40%に設定。  
資本効率の向上を意識した、機動的な株主還元を実行していく

# 4つのセグメントと事業ポートフォリオ

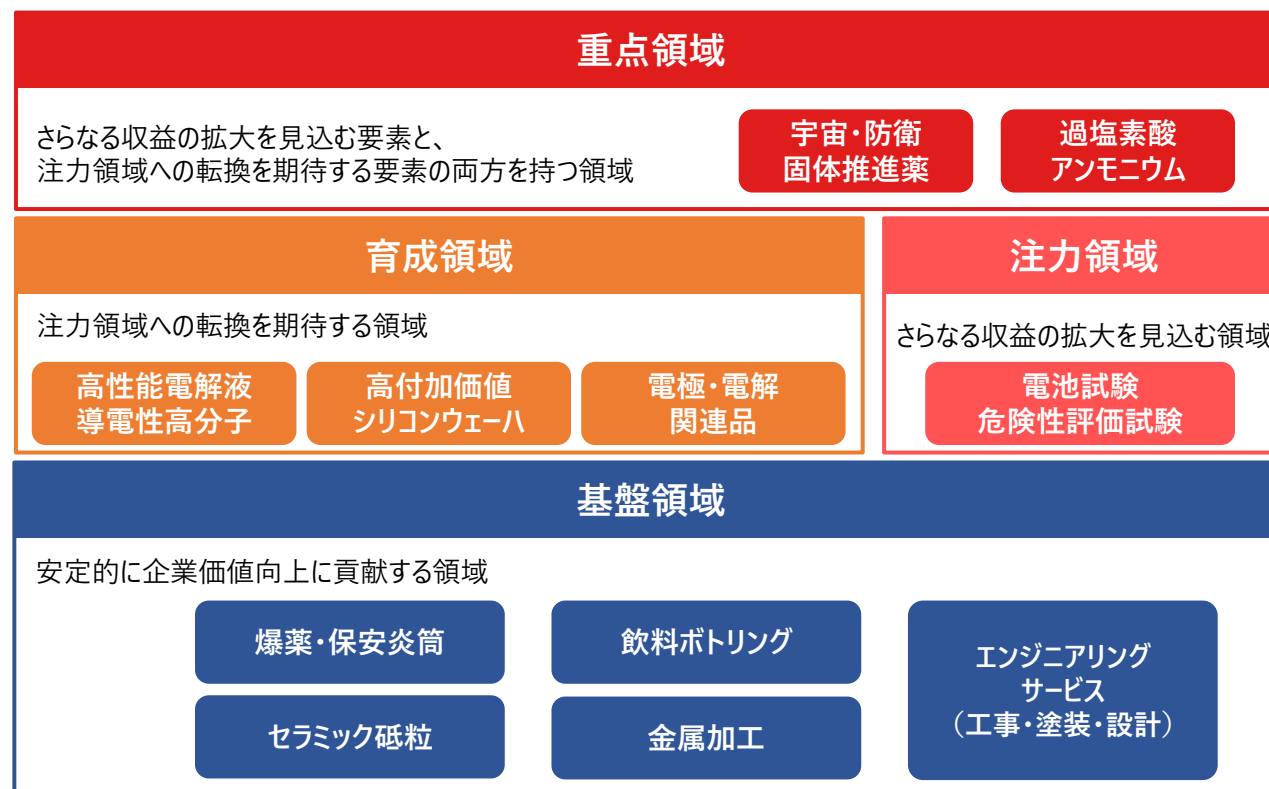
## 4つの報告セグメント

→ 事業内容・会社によって分けられた区分



## 事業ポートフォリオ

→ 成長性や収益性により、リソース配分を定めるための区分

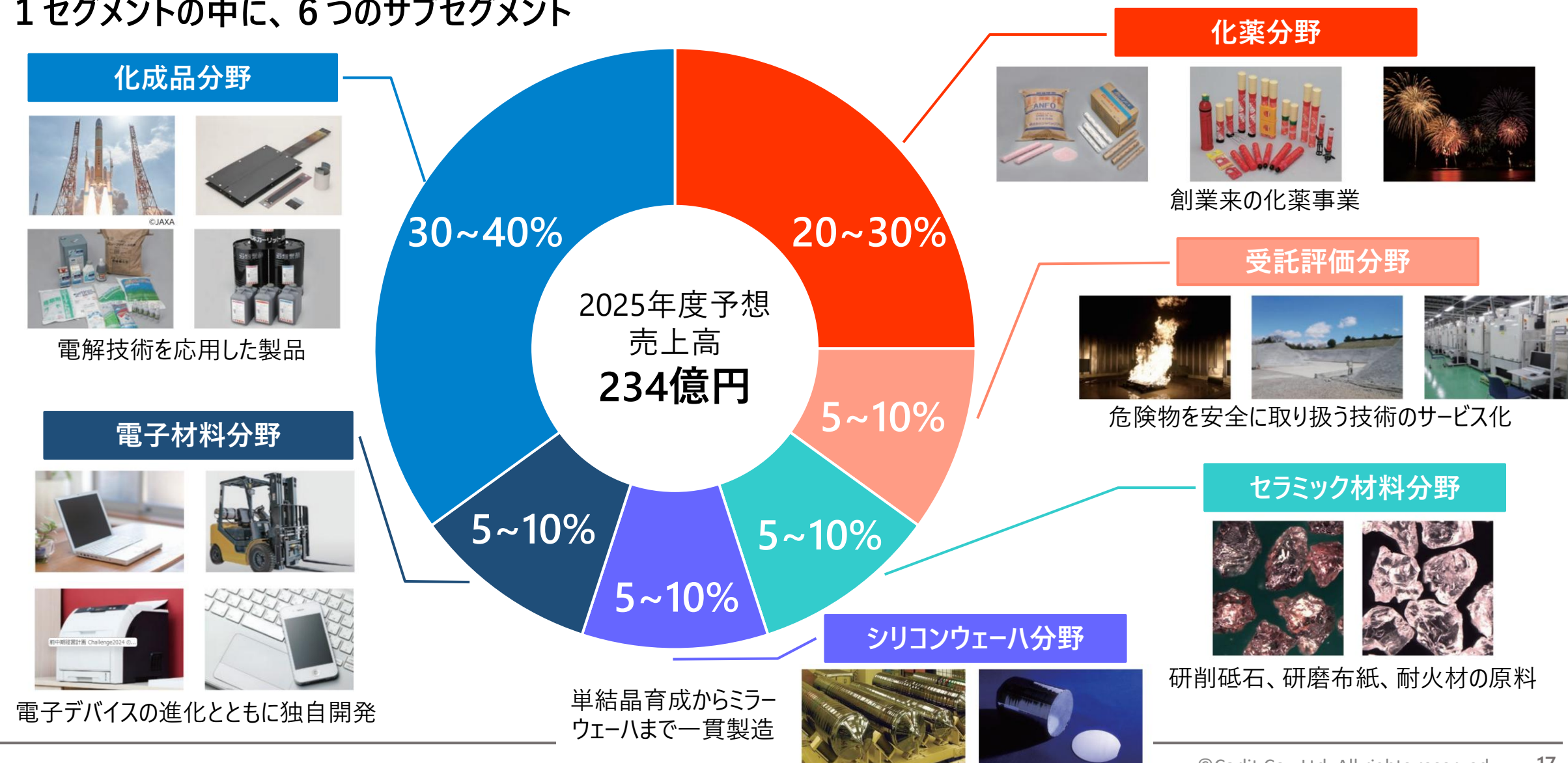


- × 報告セグメントと事業ポートフォリオの関係性がわかりにくい！
- × 化学品セグメントの分野別の構成比、重要事業がわかりにくい！
- × コングロマリットで、どの業界・外部環境でカーリットを評価したらいいかわからない！



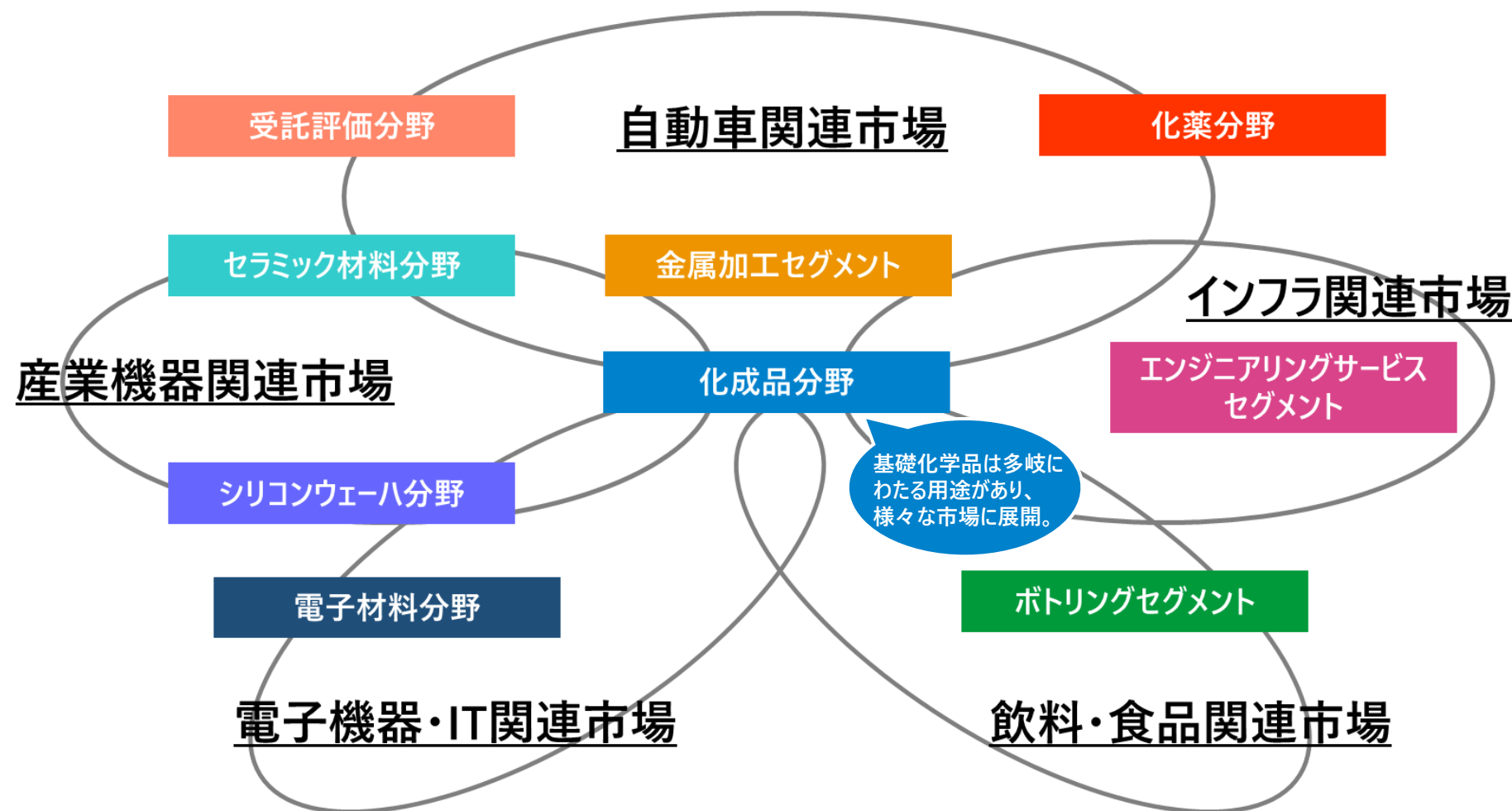
# 化学品セグメントの事業構成

## ◆ 1 セグメントの中に、6つのサブセグメント



# セグメント・サブセグメントごとの事業環境

## ◆ セグメント・サブセグメントに関わる代表的な業界・マーケット



### 【特徴】

1. 左図 5 つの市場は代表的なもの。詳細では、より多岐の市場や業界にわたって事業を展開。
2. 収益源の多様化により、市場変動リスクを分散。
3. 海外動向の影響を受けるが、販売は国内市場が主流。

### 【課題】

- × 複数事業の展開により、経営管理が複雑化
- × シナジー効果が得られない
- 市場や製品の動向・成長性をふまえ、事業ポートフォリオを定め、経営管理を実施。

# 事業ポートフォリオと報告セグメント 一覧

事業ポートフォリオ		報告セグメント（サブセグメント）		売上高比率	市場・業界
重点領域	宇宙・防衛固体推進薬	化学品セグメント	化薬分野	55~60%	宇宙開発市場、防衛産業市場
	過塩素酸アンモニウム		化成品分野		
注力領域	電池試験 受託評価試験		受託評価分野		電池開発市場、EV・HV開発市場
育成領域	高性能電解液 導電性高分子		電子材料分野		電子機器全般（コンデンサ、液晶が使われるもの）
	高付加価値 シリコンウェーハ		シリコンウェーハ分野		電子機器全般（半導体ディスクリート分野）
	電極・電解関連品		化成品分野		化学・鉄鋼プラント等のメンテナンス市場（電解系）
基盤領域	爆薬・保安炎筒		化薬分野		自動車関連市場、インフラ関連市場（安全装備市場）
	セラミック砥粒		セラミック材料分野		金属加工、機械加工、産業機器市場等
	飲料ボトリング	ボトリングセグメント		10~15%	ペットボトル飲料（280~600ml）、缶飲料市場
	金属加工	金属加工セグメント		15~20%	化学・ごみ処理プラント等のメンテナンス市場（高温炉） 自動車、建設機械、産業機器市場
	エンジニアリングサービス	エンジニアリングサービスセグメント		10~15%	建設機械、産業機器関連市場 水処理施設、民間施設等の設計・耐震診断市場

## 最後に

# 統合報告書「カーリットレポート2025」

- ・ カーリットのコア技術やシェア
- ・ 価値創造プロセス、バリューチェーン
- ・ 事業別戦略（SWOT分析、中期経営計画と戦略） など

➡ 当社ホームページにて公開中



# 宇宙・防衛固体推進薬 事業説明会

1. カーリットと固体推進薬について
2. 過塩素酸アンモニウム増産計画の進捗状況について
3. 宇宙・防衛 固体推進薬の開発状況について

（内容は現時点の予定となります。予告なく変更となる場合もありますので、ご了承ください。）

➡ 12月16日 (火) 13時頃 説明会資料を開示予定

**信 頼 と 限 り な き 挑 戦**



**株式会社カーリット**

**無 限 の 可 能 性 を カ タ チ に**